

# 本日のワークショップ

令和3年度第4回 市民活動推進委員会

## 1. ワークショップのねらい

本市の市民活動（協働）における  
**「課題」** を討議します

## 2. 本日のゴール

個人の意見を発散、共有し  
**真の「課題」**を見つけます

## 3. ワークショップの形式

# ワールドカフェ形式

- \* カフェのようにリラックスした雰囲気に対話します。
- \* 世界を巡るように、相手を変えて対話します。
- \* 互いの意見をよく聞き（否定しない）、つながりを意識して対話します。

## 4. 本日の流れ

(1)説明 10分

(2)対話 70分

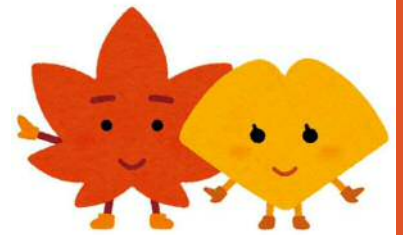
対話① (19分) 対話② (17分)

休憩 (5分)

対話③ (17分) 対話④ (12分)

※詳細は次スライド参照

(3)振り返り (質疑含む) 15分



## 4. 本日の流れ

	付箋の書き出し	対話	シール貼り	合計
対話①	4分	14分	1分	19分
対話②	2分	14分	1分	17分
休憩5分				
対話③	2分	14分	1分	17分
対話④	—	11分	1分	12分

※対話④では、対話①のテーブルにもどります

合計 70分

## 5. 対話のテーマ（問い）

「以下の問題を解決するために、今取り組むべきこと（原因・課題）は？」

- ① 参加の促進（市民活動へ参加する機会の提供がない）
- ② 参加の促進（市民活動や協働への参加モチベーションの向上ができていない）
- ③ 参加の促進（団体の活動目的や活動内容の明確化・透明化ができていない）
- ④ 多様な主体の交流の促進（ができていない）
- ⑤ 担い手育成（ができていない）
- ⑥ 理解の促進（ができていない）
- ⑦ 事業化や事業の安定化（ができていない）
- ⑧ 資金の調達（ができていない）

## 5. 対話のテーマ（問い）

\* 話し合っていたいただく内容は「原因」と「課題」です

\* 「問題」と「対応策」は話し合わないでください



## 5. 対話のテーマ（問い）

### \* 問題とは？

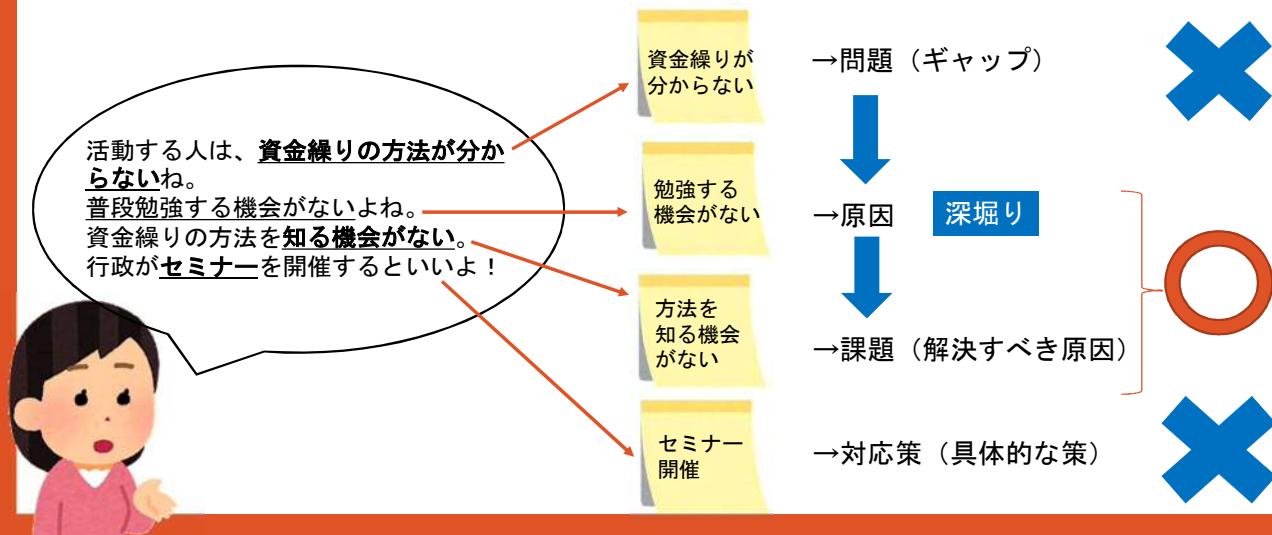
理想の達成のために妨げとして、現状もしくは将来  
発生するギャップです

### \* 課題とは？

問題（ギャップ）が発生している原因を探った結果  
特に解決すべき原因です

## 5. 対話のテーマ（問い）

例 市民活動（協働）の課題とは？



## 5. 対話のテーマ（問い）

\* ①～⑧に関する全ての課題を話す必要はありません

ご自身の経験から、特に解決すべき必要があると考えたこと（原因・課題）を話してください

\* ①～⑧に当てはまらない分野のことを、お話いただいても構いません

その際、模造紙ではなくA3用紙を使ってキーワードをまとめてください



## 6. 対話の作業内容

(1)テーマに沿ったキーワードを  
付箋に書き出します

## 6. 対話の作業内容

### 【作業】

#### （対話①）

- ・対話の最初4分間、付箋にキーワードで書き出しを行います

#### （対話②・③）

- ・進行役が、前の対話で話し合われた内容を説明した後2分間、付箋にキーワードで書き出しを行います

※対話④では、付箋を書き出すための時間はありません

## 6. 対話の作業内容

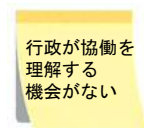
### 【ルール】

- ・原因・課題を黄色の付箋に書き出してください
- ・書き出す内容が長い文章にならないように注意します
- ・誰が見ても内容が分かるような書き方をします（キーワード≠単語）
- ・集中してキーワードを書けるよう、無言で書いてください

例 市民活動（協働）の課題とは？



→行政がどうするのか  
分からない



→“誰”の“何”が原因  
となっているか  
明示する

## 6. 対話の作業内容

### (2)グループ内の対話で 意見を共有します

## 6. 対話の作業内容

#### 【作業】

- ・ 付箋を順番に模造紙に貼り出しながら、自分の意見を話します
- ・ 問題の原因を対話で共有し

本当に解決すべき真の課題（原因） を見つけてください

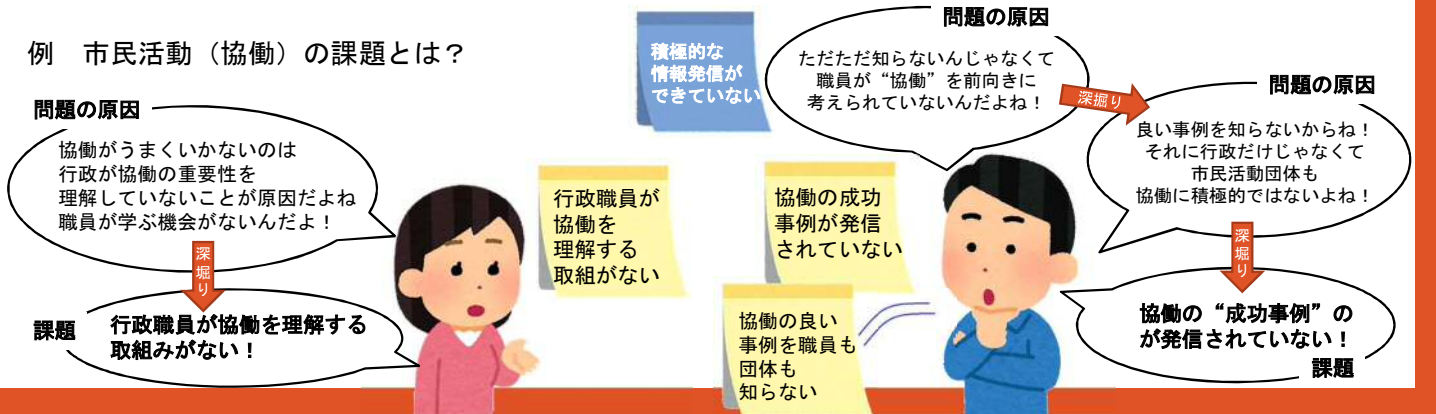


## 6. 対話の作業内容

### 【ルール】

- ・対話の中で、新しい発想があった場合は、付箋に記入し貼り出します
- ・対話で原因の深掘りを行ったら、付箋に記入し貼り出します
- ・似た趣旨の付箋は、近い場所に貼り出します
- ・対話で似た付箋をまとめることができたなら、タイトルを青い付箋に記入し貼り出します

例 市民活動（協働）の課題とは？



## 6. 対話の作業内容

(3)自分が共感した付箋（黄色）にシールを貼ります

## 6. 対話の作業内容

### 【作業】

- ・対話の最後の1分間、自分が最も共感した付箋（黄色）にシールを貼ります。

### 【ルール】

- ・1人、1つの対話で3つのシールを貼ってください。
- ・1つの付箋に1つのシールを貼ってください。
- ・自分が書いたキーワードにシールを貼ることも可能です。

## 7. 対話の心得

- \* 人の話に耳を傾けることが大切です。
- \* 自分ばかり話しません。
- \* 頭から否定しません。
- \* 楽しい雰囲気大切にします。



## 8. グループ、席次、進行など

- \* 委員を無作為にグループ分けしています。
- \* 席次表にグループが記載してあります。
- \* 各グループの進行役を委員長が指名します。  
進行役はグループのメンバーが発言できる場づくりを行います。
- \* 全体の進行は事務局が務めます。

## 9. 振り返り

- \* すべてのワークショップが終わりましたら、各グループ順番に模造紙を貼り出し  
ワークショップで話し合われたことを **3** 分以内で発表します
- \* 各グループ発表が終わりましたら、質疑の時間を 1 分間とります



## 9. 振り返り

\* 発表内容は

・ グループで、委員の皆さんの**関心が高かった課題（キーワード）**  
（シールが多い付箋の課題）

・ キーワードに関して、グループでどうい話し合いがされたか

話し合いの中で見えた、現状と理想の問題（ギャップ）にある

**根本的な原因**を発表してください